



かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」



HP アクセス QR コード

みんなで取り組んだからこそその大きな成果！！

～ 2学期の教育活動を総括して ～

早いもので、もうすぐ86日間の2学期の学校生活が終わろうとしています。夏、秋、そして冬と3つの季節の移り変わりを感じながら、136名の子供たちと25名の教職員が心と力を合わせ、全力で日々の教育活動に取り組んできました。各学年の特色ある取組はもちろんですが、2学期は大きな学校行事や活動が目白押し。**みんなで取り組んだからこそその大きな成果がたくさんありました**ので、主なものを下記で改めて振り返りたいと思います。



第74回かぼちゃ大運動会

地域の皆様に支えられた歴史と伝統ある運動会。かぼちゃに込められた願いや思いを子供たちが理解し、新たな歴史を作ろうと力を出し切りました。特に、6年生の鬼気迫るリーダーシップは圧巻でした。

校内持久走記録会

「走っても走らなくともよい。」ではなく、「苦しくてもみんなが走る。」という強い気持ちで、教職員自らも一緒に走ったり励ましたりしながら練習を行いました。そんな**底上げがあったからこそ、4つもの新記録が出ました。**



学芸会

「みんながスター」を合言葉に、各学年が生き生きと発表。子供たち一人一人の瞳、表情、台詞、動きが輝きを放ち、見る人に大きな勇気と感動を与えてくれました。子供たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

上記の他にも、今年度立ち上げた地域学校協働本部を柱に、全学年が地域に飛び出し地域の魅力に触れたり、地域の方を講師として授業を深めたりと、**地域学校協働活動も学校全体で本格的に進み始めました。**そして、何よりも**みんなで日々コロナ対策を徹底**したからこそ、当たり前すべての教育活動を実施することができました。保護者並びに地域の皆様方に、改めて感謝申し上げます。

伝統文化の歴史や魅力に触れ、その思いを受け継ぐ...

私たちの身の回りには、これまで代々受け継がれてきた歴史ある伝統文化や年中行事などがたくさんあります。各教科の学習や道徳、特別活動などで扱うことがありますが、ややもすると子供たちは形や表面だけを理解し、関わっている方々の思いや願いなど深い部分にまで気づかないでしまうことがあります。けれども、それは子供たちが悪いのではなく、教える側の大人がしっかりと精神性を理解し伝えていないからではないかと思う時があります。下記に紹介する活動から、そんな大切なことを考えさせられました。



音楽の学習で、4年生が寒河江市在住の後藤静佑先生と有川先生から箏の魅力、5年生が大町在住の安藤直良先生から三味線や尺八、締め太鼓の魅力を詳しく教えていただきました。いずれも通常は教科書の写真やCD演奏で対応するところ。本物に間近に触れ、楽器の背景や魅力を詳しく聞いたからこそ、「尺八は一つ一つ大きさや形が違いうけれど、違うからこそ合わせた時の音色が良いのだと思う。」といった感想が子供たちから出たのではないかと思います。



5年生が、米作り学習後の藁を使い、しめ飾り作りに挑戦。一般社団法人アップルランド 安藤理事とNPO 朝日町エコミュージアム協会 松田理事ほか2名の方々を講師に、およそ4時間集中して作業を行いました。作業前に、松田理事からしめ飾りの材料一つ一つに込められた思いや願いのお話もありました。

<代表児童の作文より>

今日、しめ飾りを作りました。手作業で一つ作るのにも、とても大変だということが分かりました。最初に、稲をねじる作業をしました。ねじっている時に足と背中、腕がとても痛くなりました。とても力を使う作業でした。次に、しめ飾りの輪の後ろの部分を作りました。稲の量を何回も調整しました。作っているときには友達にも手伝ってもらい、松田先生ともう一人の先生に教えていただきました。最後に、飾りをつけたり二つの部分をくっつけたりする作業をしました。飾りには、こんぶやみかんを使用しました。飾りには、いろいろな意味がありました。完成したとき、日本の文化を大切にしたいと思いました。「大願成就」になるといいなと思います。

5年 鈴木音々花さん

最近、保護者や来校された方々より、「毎日のようにホームページが更新されていて素晴らしいですね。」「他の学年の様子も分かり、過去のページも一気に見てしまいました。」などの嬉しい声をいただいております。これからも、子供たちと教職員、そして関わってくださる保護者や地域の皆様の素敵な笑顔をたくさん紹介していきますので、ぜひご覧ください。どうぞ良いお年をお迎えください。